



第一回 テキスト再現

# 「感じるコミュニケーション」

ついにはじまった「Mr.mac Academy」。

第一回講師は、DOGSHIP inc.代表の

須崎 大さんがつとめました。

人を感じて犬を知る、ヒューマン・ドッグトレーナーならではの  
鋭い視点には目からうろこが落ちまくりです。

講習内容のテキスト再現、第二段です！

ヒューマン・ドッグトレーナー

# 須崎大

例えばリビングで犬がぐっつろいでいる。ご主人、奥様がいます。そのときは何も問題はないのに、ベッドルームに行くと、奥様が入って来た瞬間、犬が吠えることがあります。分かりますか。ご主人に対しては吠えないけれど、ベッドルームで奥様に対しては吠える。なぜでしょうか、どうしたらいいんでしょうか。ちよつとこれは今日いらつしやつているトレーナーさんに聞こうと思います。この方が大塚さん、トレーナーさんです。どのようなことが考えられますでしょうか？ もうちよつと説明が必要ですか。

大塚：はい。

ではその犬が雄だとしましょう、未去勢で5歳ぐらいだと思います。普段はリビングで奥様が動いたりとかいろいろしても何も問題はない。散歩も上手にできます。にもかかわらずベッドルームに関しては、ご主人が動いても何も問題はないけれど、奥様が後から入って来たりとか、あるいはベッドルームで動くと、どうも吠える。どのようなことが考えられますか。あるいはどのように改善しますか。

大塚：たぶん立場的に奥様のほうがちよつと弱いのは、うん、弱いと。なぜその場だけ

したらよくなりますか。大塚：犬と一緒にベッドには寝ない。

うん、すごくいい見方だと思います、ありがとうございます。そうですね、犬にとってその空間に何か理由があるわけです。ベッドというのは飼い主がぐっつろぐところですし、しかも目線が上がりやすい。そういった場所です。自分は何か主張できるのだ、と勘違いをした可能性が十分にあります。

これを解決するためにはどうすればいいかというと、まず怒つちやだめです。歯向かってきます。叱ることももちろん大事なのですが、プラス何をすればいいかというと、**ベッドルームの家具の配置を奥様が変わります。**犬が見ている前で。ここにベッドを置いておくとか、ちよつと何か物置があるとか、そういうことを犬にわざと見せながら奥様がよしよしと移動させます。そうすると自分がこの空間であれば主張できるかなと思っ

ういうふうな物の位置を変えることによって、この人はすごいなというところを感じるから主張がしにくくなるわけです。

そういう心理をうまく使っているのが、リーダートイです。よくありますよね、おもちゃはずつと出しっぱなしではなくて、その中で特に好きなものは飼い主が管理しようという考え方で、それは犬によっては音だったり、形だったり、素材だったりいろいろありますが、そういうものをしっかりと管理して、飼い主がコントロールするわけです。いつでも遊べるおもちゃじゃないようにする。つまりタラララタララ（ドラーえんものポケットから出す音）って出てくると、犬は「ああ、あのおもちゃだ！」ってなるわけです。「遊んでいただけですか」となりますよね。しかもそれは遊びたいと思っても遊べない、飼い主が管理しているもの。自分が大好きなものを管理している人というの、必然的に偉くなります。だからそういう管理をしないで、家におもちゃがたくさんあるよ、といううちでは、大体**主導権を犬が握っている場合が多いんです。**全部、犬の管理下にあるからです。そしてそこを掃除する母上、みたいな。そこを逆転させるためには、そういう工夫



The Mr. Mac Academy

をしてあげることも大事なことです。

そのときに、先ほどお話ししたような、「褒める」と「叱る」をほどよくやってあげるわけです。おそらくそこを適切に見てくれるのが、専門家です。犬によってどれくらい褒めたほうがいいのか、どのくらいの気持ちの強さで叱ったほうがいいのか、ということを経験値からよくご存じなのが専門家なので、そういう方に見ていただくといいと思います。

次に「幽体離脱」。勝手に僕が表現しているだけなので、あまりこの名前の響きを気にしてほしくないのですが。皆さんがおうちのソファアの上ですとか、椅子の上で犬たちを仰向けにさせること、よくやりますでしょうか？ お腹を見せる体勢をとる。不安な犬は、あるいは飼い主にそんなに主導権を取られたくないと思っている犬は、なかなかお腹を見せないんです。なぜ犬はお腹を見せないのでしょうか？

Kさん…信用していないから。信用していないから。一言言われたくないことばが返ってきましたね。そう、信用していないわけです。お腹というのは、体の中で一番弱点である腸が見ええです。この腸をオープンにする、という

コミュニケーションのとり方をやってあげる。経験を与えてあげることで案外と力が抜けるのが早くなるものです。ぜひ、やっていただきたい。

あと一つ、今日からできることを皆さんにちょっとご提案したいのは、**既成のルールの再確認**です。これまで平和だった日本の環境でしたが、今回の震災を受けて犬が非常に不安になっているときに、もう一回規律を与えてあげる。これって犬が落ち着くんです。これまでは自分の判断で行動していた犬たちが、今後飼い主にそれをうかがう。これは縦社会という意味でいうと、飼い主と犬との距離がぐっと開くということです。この距離感を持たせてあげると、この人と一緒にいれば大丈夫、何かあっても守ってくれる、ちゃんと管理してくれる人である

と理解します。これはどうでしょうか。(モニターにうるうるした瞳で見つめる柴犬の顔) この目ですよ、やられちゃうのは。これに負けてしまう人が多い。この目で見られちゃうと、つい皆さんから出る言葉は「お腹空いたの?」とか「寂しいの?」とか、「散歩に行きたいの?」など。

こうやって、何を考えているのだろうって、想像しようとするの

ことに対してリスクがあるわけですね。

犬同士の喧嘩で激しくやったりしますが、相手の犬の腸を噛むということはないんです。やはり同じ種として、種の保存がありますから。犬というのは相手を殺したいのではなくて、**プライドを傷つけさせたい**と思うから口まわりを噛むんだと思うんです。口まわりって犬にとつてすごく大事なところですよ。とっても自信がある犬歯があります。あとは、大事な嗅覚もあります。次に「嘔む」ための一番強い筋肉がここに

あります。あと唾液腺もここにあり。このへんというのは、犬にとって大事だからこそ、そこをガツと噛もうとする。今日いまだからデートに行くというのに、お父さんに「お前どこへ行くんだ」ってガーツと頭をくちやくちやにされるような「何すんの!」っていう感じを、犬は喧嘩でやっているんだろーと思えます。だから腸を噛むことがないというのは、それほど犬にとって大事だからということをお互いに分かっているんです。

かつ、どの犬も、白い犬も黒い犬も一番このお腹というのは、淡い色をしています。この淡い色というのは平和な気持ちの象徴です。白い鳩は平和でしょう。人

が人間のいいところなのですが、**勘違いが多いんです**。別に犬はそれを望んでいないのに、飼い主が勝手にやっちゃったりということがありますから。こういうふうには犬が何かを訴えてきたときというのは、犬は皆さんに対してたしかに何かを望んでいます。こちらがソファアにいるときにこつちを見ている。そうしたら「よし、じゃあおいで」と言ったら乗ってもいいことにする。でも、勝手に乗ろうとしたときには「ちよつと待ちなさい」と言う。あるいは乗ったあとに、勝手にどこかに行くのは「ちよつと待ちなさい」と言う。まだまだいて欲しいんだ、と。でもどこかに行きたいのだから、5〜10秒くらい時間を空けてから「じゃあ、いよ」と許可する。こういう管理をしていたら、よくしつけの本に書かれてるように、ソファアに犬を乗せちゃいけませんとか、ベッドに犬を乗せちゃいけませんとか、そういうがんじがらめの規律ばかりの生活にならなくて済みます。

何でも駄目駄目というのは、**犬と一緒にソファアでゆつくりすることの心地よさを知らないんだ**と思う。あのあたたかさ、心拍、体があたたかい、犬たちをそばに置いてるときってすごく幸せ

間にとつても動物にとつてもこの「白」というのは、淡い色というのは、平和な気持ちの象徴なわけです。そういつたところを見せる余裕がない場合は、なかなか見せない。でも私の膝の上だから大丈夫、というふうに伝えられたら犬がリラクセスします。

犬というのは猫と生感が真逆です。猫は敵を避けるために上に逃げましたが、犬は獲物を獲るために下に下りたわけですね。そういったときにしっかり踏みしめる、肉球が地面についている、重力を感じる、ということが大事だったわけですね。でも仰向けになつていたらそれができませんよね、そこが不安なんです。どこに力を入れたいか分からない。ですから、飼い主の膝の上でもそういう状況をキープできるのであれば、かなりコミュニケーションがとれているということが言えると思えます。

地震があつたりしたときにそばで「大丈夫だよ」って言うだけじゃなくて、呼ぶわけですね。「おいで」って。「じゃあ、ちよつとお腹見せてごらん」。私が教えてあげるよ、くつろぎ方も、と。私と一緒にいるんだつたら大丈夫だよ、そういう伝え方が一つあります。こつちの気持ちはハッピーで天にも昇る気持ち。だから「幽体離脱」と

じゃないですか。僕はそのこと自体はいいと思うのです。それを可能にするためには、できればこつとしたルールを組み込んであげるといいです。カフエで犬が吠えました。カフエに行つたことのある方は、そのときの辱めとか、恥づかしいです。多々の方がどうにかしなきゃと思つておやつをあげます。それは黙りますよ、けれど犬は何を学ぶかという、**吠えることを覚えます**。犬がいい子にしている時は、おうちの中においても、あるいは屋外においても、飼い主はあまり注目しないものです。いい子にしているからです。

一方、吠えたり何かアクションを起こしたときには「NO」って叱つてくれる。名前も呼んでくれる。そうすると犬は自分がつまらないと思つたら、何かを探すようになり、先ほどのゴイさんみたいな感じですね、誉めてもらいたい、注目してもらいたいから椅子にあんなことをしちゃうわけですね。

犬たちというのは、飼い主に褒めてもらいたい、あるいは注目してもらいたいために、いろいろトライします。それがうまくいったら、今後その選択肢を選ぶようになります。それが犬の学習です。ですから今後、カフエで吠える

いうわけです。

次に「空中遊泳」。別にこれも空中遊泳をしているわけじゃないのですが、犬の不安な気持ちがあればどうか、そのときに飼い主である皆さんが伝えられる安心感がどれくらいか、ということを感じたいです。

今日はここに犬を連れて来られないので、ちよつと実演ができませんが、犬を抱くとき赤ちゃんのように抱いてはいけません、犬には鎖骨がないから、苦しくなってしまう。

股の後ろから手を入れて抱きかかえる。この状態は腸に負担がかかりませんので問題はないのですが、心理的に不安になります。肉球が浮いているからです。飼い主を信用していない犬は、そこで一生懸命もがきます。そして足の裏をどこかへ着けようとしています。そういう子はまだそういう状況において、飼い主に対する安心感、信頼度がちよつと弱いんですね。いつ何時抱いてもOKと、フツと力が抜けるような状態になつていけば、飼い主との信頼関係はかなり強くなつていると思います。先ほどもお伝えしたように、**犬は経験から学ぶわけですから、ただ**

できるかどうかというだけではなく、いろいろな状況でそういうようなことがあれば対応策はいろいろありますが、一つの案として、お座りとか、伏せ、何か指示を出して3〜5秒でも黙ることができたらその場でおやつをあげてみる。そうすると犬は何を学ぶかという、これまでは吠えれば注目してもらえると学んでいたのですが、今はそういう対象物があつたら、黙つて飼い主を見なければ褒めてもらえると思うわけですから、次から吠えにくくなるんです。しかもそれを自ら選ぶようになる。効率がよくなつてくるんです。ですから今後犬たちとコミュニケーションをとるときには、なるべく皆さんが**望んでいる行動を犬たちが選択する**ような、そういう付き合い方をしてあげるとよいです。その場の対処で終わらないようにしてあげることが大事です。

犬が吠えているときに、どうすれば吠え止むのか。一番簡単なんです。そう、そういうのは、犬は賢いので、例えばチャイムが鳴つてスプレーで水をかけられた、そうすると吠え止むということはあります。ただ、根本的なものを解決してないので、他の行動にうつるのが通常です。一方そのときに、**飼い主がしっかりとした意思を持つて言うこと**によって犬はそれを感受します。つまりこの人は本気



The Mr. Mac Academy



The Mr. Mac Academy

なのかなとか、この人は何を考え  
ているのかということが犬には分  
かるんです。これは皆さん、もう  
実生活で実感されていると思いま  
す。どうも犬が嫌いな人には吠え  
るんだよねとか、犬が好きな人に  
対しては犬つてやっぱり近づいて  
いくよね、とか。相手がどのよう  
な服装をしているのかとか、どのよ  
うな動きをしているから怪しいと  
か、そういうことではなくて**その**

**人の本質を見る能力があると思**  
います。今日この空間で、こうや  
って話をして、皆さんが聞いている。  
犬だったらこれはあり得ない  
んです。絶対にどこかへ行っちゃ  
うだろうし、そのへんでおしっこ  
をしてしまうかもしれないし、ワ  
ンワン吠えることもあるかもしれ  
ない、これが犬です。でも人とい  
うのは周りの状況を見ながら、こ  
こはちょっと黙っておいたほうが  
いいだろうとか、目が合えばあ  
てられそうだから避けようかなと  
か(笑)、そういうことを考えます。

でも犬はそのとき、危ないなど  
か、嫌だなと思ったら回避する、  
そういうことが根本的にありま  
す。ですから、今回の震災のとき  
にストレスになったであろう部分  
は、本来であれば逃げられたのに、  
おうちから逃げられなかったから  
ストレスになった、ということは  
あるでしょう。かつ、そこにいる

えます、というのが案外あったの  
ですが、では本当に犬だけの問  
題でしょうか。引つ張っていないか、  
あるいはご自身がドキドキしてい  
ないか。犬というのは引つ張られ  
ると、作用反作用で引つ張るよう  
になります。しかも毎回、他の  
犬が来ると引つ張られるわけだか  
ら、「**あの犬は僕に悪いものを与  
える犬だ**」となります。次から  
吠えやすくなるのです。  
あるいは、飼い主の方が感情的  
になつてると不安になります。  
そうするとより吠えやすくなり  
ます。どうだろう、自分の動きは、  
自分の心情は。

チャイムが鳴つてそわそわして  
いるのは、飼い主のほうじゃない  
ですか。はい、はい、はい、はい、  
それまで穏やかだったのに急にな  
んだか激しくなつて。チャイムが  
鳴っているから自分も興奮して吠  
えちゃつた。そうすると、飼い主  
が名前を呼んでくれる。これもう  
れしいですね。そしてインターフ  
ォンに出る、自分もなんだか楽し  
いからワンワン吠えて対応して  
みる。そうするとまた「褒めて」も  
らえる。そしてそういつたときに  
は、必ず何か新しいエネルギーが  
入ってくる。これがお客さんです  
ね。あるいはそれが宅配の人であ  
れば、吠えれば吠えるほど毎回  
家から遠ざかってくれる。ほら、

飼い主が不安である…こんなにた  
まらないことはないんです。本来、  
犬はストレスを溜めない生き物で  
す。人間は我慢しなきゃいけない  
いから、ストレスになることがあ  
りますが、犬は嫌だなと思ったら  
距離を保つ回避本能があります。  
それ以上入ってきたら唸る、吠え  
るといふこともできます。こうい  
うふうにストレスを発散する能力  
があるわけです。

では最後に社会とのコミュニケ  
ーションをちょっと考えてみまし  
ょう。では質問です。この3つの  
イラストを2つに区分してください。  
いいですか、2つに区分しま  
す、簡単です。(モニターにパン  
ダとゴリラとバナナの絵、どうぞ  
やつてみてください。皆さんはこ  
の3つをどのように2つに分けま  
すか?)

この区分の仕方は3通りしか  
ないんですね。まずゴリラ、そし  
てバナナを一緒にされた方。非常  
に日本人っぽい考え方ですね。日  
本人的感覚です。じゃあ次にパン  
ダとゴリラを一緒にした方。本当  
ですか。これはおめでとうござい  
ます。最近のアメリカンタイプで  
すね。古典的な日本のタイプじ  
ゃありません。パンダとバナナを  
つける人は、相当あまのじゃくで  
すね、これは接点がないでしょう。

追いつたでしよう。吠えるとか何  
か来たもの、そのエネルギーがど  
こかへ行つてしまふ。これは、犬  
にとつての勝利ゲームなんです。  
だから、郵便配達の人に対して  
強く吠えるということはよくある  
ことです。

犬と暮らすことによつて皆さ  
んが最初子どもの頃に思つていた  
ような、ここ掘れワンワンで何か  
を見つけてくれるとか、そういつ  
たことはあまりないかもしれませ  
ん。でも僕たちが現代人として生  
きている中で、どこかに忘れてし  
まったようなもの、そういつたも  
のを犬たちはまだ持つている。そ  
れが何かとても素晴らしいという  
わけでもないですが、犬はそう  
いう生き物なんです。好きなこと  
しかししないし、飼い主のことが大  
好きで、その影響を受ける。だ  
からこそ私たちがどのように立ち  
居振舞わなければいけないのかと  
か、そういつたことをもう一回気  
づかせてくれるような存在のよう  
な気がします。

そして今回の震災によつて、東  
北の犬たちは本当に大変だったか  
もしれないけれど、関東圏であつ  
ても意外に影響を受けているん  
です。ですから私が今日皆さんにお  
伝えしたいことは、いま皆さんが  
飼われている犬、あるいは飼おう  
としている犬、その子たちを皆さ

これは何を意味しているのかと  
言いますと、このように動物とバ  
ナナを見たときに「動物」と「バ  
ナナ」を分けるべきだと考える人  
と、ゴリラはバナナを好きだから  
と分ける人、が多くいるわけです。  
ゴリラとバナナを区別した方と

いうのは、その相性を見るとい  
いますか?例えばパンダのことを考  
えると、ちょっとかわいそうかも  
しれないけれど、ゴリラはやつぱ  
りバナナが好きだから、パンダよ  
りも好きだからバナナはゴリラに  
与えようという組み合わせを考  
える方です。

一方、パンダとゴリラ、これが  
チームだといった方は、同じ動物  
だからという考え方なんです。こ  
れが西洋風だとお話ししました  
が、これは私たちが犬を飼ってい  
る社会でも同じようなことが言  
えます。

犬が好きじゃない人もいる、好  
きな人もいる。その中で私は犬を  
飼っているわけだから、もつと周  
りのことを考える必要がある。そ  
ういうふうに思いませんか。日本  
人というのはどうしても体裁を  
見ます。そのほうがより落ち着  
きがいいだろうとか、そういうふ  
うに周りを考える社会なのかも  
しれませんけれども。

社会にはたくさん自分以外  
の方々があります。もちろん自分と

んが心から愛し、そして社会の  
中で問題がないようにしっかりと  
コミュニケーションをとりながら  
飼うことができれば、世の中の捨  
て犬というのは確実に減るはず  
です。救うことも大事だけれど、  
捨て犬を増やさないこともすごく  
大事なんです。あとは、もし何か  
皆さんにあったときにその子たち  
が社会に対して問題が少なくよ  
うな犬であれば誰かが救ってくれ  
るはずなんです。捨て犬を減らすた  
めには、出さないことと救うこと、  
両方が大切だと思います。

まず今日、皆さんがおうちに  
戻られて我が子にどのような声  
かけをされるのか、あるいはどの  
ようにして接するのか、私はそこ  
に非常に興味があります。もう  
そわそわして、今日は早く帰ら  
いなと思つていただいたほうが、  
僕はうれいんです。

最後にこの写真を見てくださ  
い。(モニターに見つめあう人と  
犬の写真。人は屈んで犬に視線  
を合わせている)見えるかな、こ  
れはニューヨークだと思います。  
ニューヨークのホテルのフロント  
の前です。ニューヨークというの  
は犬と一緒に泊まれるホテルが多  
いので、ここに犬がいるのは全然  
おかしくないのですが。

こういう絵を見ると何か暖か  
くなりませんか。犬目線になつて

自分の犬との相性を見ることも  
大事ですが、周りの人々とのコミ  
ュニケーションというのやはり  
大事にしていきたいんです。

「犬は自身の鏡である」。これは僕  
がすごく好きなことばなんです。

私は犬と暮らして、多くのこ  
とを覚えてもらっています。今回  
の地震のあとにすごく不安な状  
況が：私自身もそうですが、犬  
もあつたわけですから。犬が  
不安であるということは、おそら  
く私のほうにも何か問題があつた  
はずですね。それはおうちの環境  
も含めてですが。つまり自分があ  
まりに感情的になつたりとか、不  
安になると**犬もその影響を受け  
て強く反応が出てしまふ**。これは、  
皆さんも感じていることだと思  
います。つい怒つてしまふこともあ  
る、感情的になつてしまふことも  
ありますが、それが人間だからい  
いんです。そのときに犬と一緒に  
いることによつて、その自分に気  
づかされるというか。これつて「自  
分」かなつていう…。

おそらく犬の問題行動とか、  
皆さんいろいろと悩まれていると  
いうことは感じています。もう一  
回その状況、状況で、自身が何  
か反省する部分はなかつたかとい  
うことを考えていただきたい。ご  
自身の対応ですよ。他の犬に吠

あげる。犬はこうだ、というよう  
な人間目線というのは、たしかに  
客観的には大事かもしれません  
が、ぜひ今日から大事にしてい  
だきたいのは**犬を内側から見**  
ということ。犬を外側から見  
ているのかな、ということを想  
像してみる。これは人間にしかで  
きないことなんです。動物にはそ  
れができません。この子が犬とい  
う生態からどのように物事を理  
解して、そして学習しているのか  
なということ、ぜひ今日以降、  
犬を内側から見ながら想像して  
いただきたい。そうすると、ちょ  
つとコミュニケーションが変わつて  
きます。そのときにやはりHow  
toも必要です。どうしたらいい  
のか。先に言った、外国人と恋  
愛をしたことがありますか、とい  
うこと。まさにそこでしょう。好  
きな子がいる、でも言葉も違う、  
文化も違う。じゃあどのように  
コミュニケーションをとろうかと、

やつとそこでHow toが出てく  
るんです。だから最初からHow  
toにいくのではなくて、そう  
いうものがあつて、じゃあ、とい  
うふうにぜひ覚えていただきた  
い。そうすれば犬のことを知る上  
で、何をいま皆さんが勉強すべ  
きか、ということが整理できるはず



The Mr. Mac Academy



## The Mr. Mac Academy

です。お座りの仕方から勉強させなくても、しなくてもいいんです。必要なことから勉強できればいいと思います。

今日の内容で分かりにくいところがありましたら質問を受けたと思います。

「さん…地震が起きたときに非常に犬が不安になりますよね。問題行動は起こさないのですが、そのうち不安になってくる犬を、大丈夫だっというふうに伝えるにはどのように行動とるか、飼い主がしたらいいのでしょうか。」

ずっとウロウロしているようであれば、これはかなり不安だということ。犬というのは面白くて、例えばご飯を食べないと人間の場合「あー、腹減った」ってじっとしていますが、犬は多動になります。止まっていたら何も得られないということを知っているんです。地震とか、そういう不安なことがあったときに動いている子というのは、どうしたらいいのか分からないわけです。その場合は**落ち着き場所を教えてあげたい**と思います。つまりその子が好きなクッションとか、あるいはご家族とソファーにいたることが好きだったら、

のにおいを残します。ですから飼い主に見たら、何でこんなところにおしっこを思うかもしれないが、おそらく自分のおいを全く違うところに残すことによつて、より安心できる空間にしていると考えられます。

クレートなどに入れる時、自分のにおい、犬のにおいがついているものを一緒に入れてあげると落ち着くと言われているでしょう。あれは犬が**においというものに対してそれほど頼っている**といいますが、いつも身につけているにおいがあることによつて落ち着くわけです。

あるいは散歩中に他の犬と出会った。そうするとそのへんにおしっこをする犬がいます。それは不安だから、その場に自分の情報をちよつとおいて、自分を安心させようとしているということも考えられます。ですから全然違うところに行っているとしたら、もつと飼い主の方はしっかりしたほうがいいと思います。それこそさつきの規律をもう一回やり直すとか、新しくルールを入れてあげるということも大事でしょう。

あと、ニアミスの場合はまだそこでしっかりと自分のにおいを落とすというよりは、不安で動いてしまっていることもある。おしっこをするタイミングで大体皆さ

そこに呼んで抱いてあげるだけでもいいんです。ただ、その子が自分でどこかへ行って震えているとか、かたまっているのであれば、それは自分が落ち着くべきところ、安心できる場所を見つけられているので、それに関してはそんなに心配する必要はありません。雷に反応して震えるとか、中には不安で家中のものを噛んでしまつて血だらけになる子もいるのですが、ちゃんとアプローチしてあげると、自分が安心できる場所を探します。

例えば雷の場合、大体犬は洗面所か風呂に行きます。それは水が絶縁体だということを知っているからです。そういう場所を探せない子は大変なんです。オロオロ、オロオロ、多動です。でもそういったことを見つけていられれば特にそんな心配をする必要はなくて、大丈夫だよ、と声かけしてあげればいいと思います。見つけられない子に関してはそこに導いてあげる。その子が**普段一番落ち着いているところはどこか**ということ想像します。やはり自分のクッションかなと思つたら、呼んでそこで落ち着かせる。

大事なことは、普段我が子がどのようなことが好きで、どのようなことを好まないのかということとをちゃんと観察して、それを知ります。不安なんです。おしっこを始めたなら、そつと目を合わさず近づいて行って、そばにだけ。終わつたあと、肉球の4つが全部シートの上にあるときにしっかりと褒めてあげる。そうするとその場所を覚えます。トイレって、気持ちよさがマックスになるときというのは、全部終わつたあとでしょう。もちろん我慢してパツと行けたときも嬉しければ、やつぱり爽快感というのは終わつたあとです。その終わつたあとにちゃんとシートの上がないと、なかなか覚えられないです。ですから、もう一回そこを整理してあげるといいでしょう。

では皆さま、時間が少しオーバーしてしまいましたが、本日はご参加いただきました。ではい一度、須崎大さんに大きな拍手をお願いします。(拍手)ありがとうございました。

つていることなんです。それがしつけの本に書かれていることよりも大事だと思います、我が子の観察、これを今日からぜひやってみてください。

「さん…はい。うちの犬は玄関で一人で固まるんです。先ほど雷のお話がありました。雷が鳴ると必ずお風呂に行きます。だから、分かっているのかもしりませんね。」

これはちょっと僕に分らないけれど、その子にしてみたら玄関というのは毎回大好きな家族が帰ってきてくれるから、いいイメージが強いのかもしりません。

もう少し言うと…レストランに入りました、食べておいしかった、ワインもおいしかった、でもサーブスが悪かった、「でもまあ、あの値段だったら次また行ってもいいかな」と考えるのが人間の考えなんです。犬にはこれがありませ**ん。犬は足して割るということができます**。全部足し算か、引き算です。「おいしかった」というのがあれば行きます。でもサーブスがものすごく悪かった、このマイナスが強いと、もう行かないんです。だから玄関のイメージが何かしらすごくよかつたのであれば、そういったときに玄関を選ぶことはあると思います。ですから、

ら、ご自身が犬の問題行動を考えるときに、これまでものすごくネガティブなイメージを与えたことはなかったか、ということをもう一度振り返ってみてください。そういった事象に関しては、そこにそれ以上のプラスを与えてあげればそんなに引かざるういんです。それが犬の考え方なんです。犬は割り算ではなくて、足し算と覚えています。足し算には、マイナスも入ります。

Mさん…あの、この震災以降、おトイレを外す犬がいますよね。うちの犬も外していたんですが、どうして、震災が起きて外すようになるのでしょうか。

はい、これはその犬がどのような心理で外すようになったかをやんと見なければいけないのですが、今日は一般論でいきましょう。まずチェック項目、**全然違うところ**にしているのか、ニアミスのかです。これが大きな判断基準でしょう。

ニアミスの場合、不安な感じでしょう。もし全然違うところに行っている場合は家の中、本来であれば、不安なのであればとつどこかへ行っているはずなのですが、ここにいなきやいけない。そうすると犬は、自分の空間をより安心なものにするために、自分



## The Mr. Mac Academy

### 須崎 大 (DAI Suzuki) ヒューマン・ドッグ トレーナー 宮崎県出身

職業としてのドッグトレーナーの実務経験と、動物の行動学と心理学を学問してきた立場から、「動物行動心理学」という分野を研究。「人間の中に潜む動物感覚」「動物から学ぶコミュニケーション能力」等、「動物としての人間」を前提としながら、言語能力や視覚能力に偏らない五感による観点で「人間にも応用できるコミュニケーション学」を標榜する。DOGSHIP inc.代表。 <http://dogship.com/>



## Mr. Mac Academyとは？

BUHIでもお世話になっているお店「Mr. Mac」のオーナー日置さんが立ち上げた勉強会です。講習会と言ってもいいのかもしれませんが、少し違う気がします。一方的な講習を受けるのではなく、参加した全員で学び、活かす会だからです。日置校長の商売っ気抜きの思いにBUHI編集部も共感しました。これからもレポートしていきます。

Mr. mac Academyの情報はこちらで！  
<http://mrmac.jp/>